

ネパールへの支援物資などの贈呈式に臨んだ
(左から)高木秀史さん、渡辺繁雄さん、成
沢貴子理事長、菅波茂AMD Aグループ代表
＝北区伊福町3で



ネパール義援金 AMD Aに寄託

県内の有志

大地震に見舞われた
ネパールを支援しようと、県内の有志が26日、被災地で活動を続けている国際医療NGO「AMD A」(北区伊福町3)に支援の物資や義援金を贈った。倉敷市の縫製会社「高木ソーイング」は、

担架や寝袋として使えるデニム生地防災用品30個を寄贈。同社専務の高木秀史さんは「避難生活を送っている人の役に立てば」と語った。

一方、元総社市議の渡辺繁雄さんは個人で義援金100万円を寄付。渡辺さんは「総社市は(国内で災害に見舞われた地域を支援する)大規模災害被災地

支援条例を作り、AMD Aとも連携協定を結んでいる。元市議として気持ちを届けたい」と話した。

受け取ったAMD Aの成沢貴子理事長は「復興支援に役立てたい」と礼を述べた。AMD Aは今後、被災者の心のケアに重点を置いて支援を続けるという。